

## 独法移行後の医療

国立病院部医療指導課

佐々木 昌 弘

あけましておめでとうございます。

今年は多くの国立病院所・療養所は独立行政法人に移行し、ナショナルセンターも単独の特別会計となることから、一層の経営改善が求められることとなります。

しかしながら、経営はあくまでも裏打ちであり、病院における本体は医療であることは当然です。

そこで、独法における医療の方向性について、昨年11月に示された運営のあり方についての基本的方向に基づいて考えてみたいと思います。

## ① 満足の医療

最大のポイントは、利用者である国民に満足される医療であるという点です。そのプロセスとして、職員の発想の転換（継続的な意識改革）が求められています。

また、キーワードとしては、「患者の目線に立ったサービス」、「分かりやすい説明と相談しやすい環境づくり」が挙げられます。

## ② 安心の医療

最大のポイントは、高い医療倫理を確立するという点です。具体的には、倫理委員会、治験審査委員会の適切な運用です。なお、各施設の負担軽減の観点から、本部やブロックへの倫理委員会の設置も検討しています。

さらに、医療安全管理を重視し、リスク管理も強化します。従来の専任リスクマネージャーの配置やヒヤリハット事例の収集の推進や、関連する院内感染対策、救急医療の充実についても推進していきます。

## ③ 質の高い医療

重要なポイントとしてクリティカルパス、政策医療ネットワーク、数値目標（臨床評価指標）、キャリアパスの4点を考えています。

1点目のクリティカルパスについては、チーム医療の推進、患者に分かりやすい医療の提供、医療の標準化等の利点があります。さらに、クリティカルパスに基づいて医療を提供した場合の診療報酬を分析をすることは、経営の安定化にも貢献します。

2点目の政策医療ネットワークについては、ナショナルセンターと有機的に関係し、ネットワークを活用していくことは、エビデンスに基づく医療の実践に不可欠です。

3点目の数値目標（臨床評価指標）については、診療内容の客観的な評価を行う上で有用です。このことは従来、困難といわれてきたところですが、本年度から検討し、試行している臨床評価指標を活用し、例えば一般病床の平均在院日数やクリティカルパスの実施数（率）、患者満足度調査の結果等について、導入していきたいと

考えています。

4点目のキャリアパスについては、医師や看護師について、本機構の持つ組織や機能の特色を活用して、急性期や慢性期に至る様々な医療現場を経験する、専門技術研修を受ける等の経歴を評価するキャリアパス制度を構築したいと考えています。

この点については、施設単独ではできないことなので、本部やブロックでの一括採用や必要なポストの調整、ナショナルセンターとの人事交流なども含めて検討していく予定です。

## ④ 我が国医療の向上への貢献

本年4月から独法移行と同時に卒後臨床研修がスタートします。本制度の趣旨に則り、より多くの研修医を受け入れ、質の高い研修を行って、良質な医師を育てることは重要な責務です。

もちろん、勤務する医師等についても、学会や研修に積極的に参加できるように規制緩和等を行い、EBMの形成や治験にも積極的に参加できるよう環境整備を進めます。このとき、経営とのバランスを考慮することも健全な病院の発展には肝要ですので、病院運営の観点から各施設においても検討していただきたいと思っています。

また、繰り返しになりますが、政策医療ネットワークにおけるエビデンス形成は、ネットワークの最大の責務であり、ネットワークごとの具体的目標、方向性をナショナルセンターとも連携して定め、この目標・方向性に沿って臨床研究を推進し、成果を情報発信していくことが重要です。

なお、この情報発信の中には、医療のコストの観点から、経営データとも連動した数値も含めて検討したいと考えています。

最後に、治験についても規模のメリットを活用し、本部に受付窓口を設置して、他施設間の共同研究を可能とし、質の高い治験の適切かつ迅速な実施を目指したいと思っています。

国立病院機構はすべての都道府県・医療分野をカバーする唯一の病院グループといっても過言ではありません。

このため、有機的な連携をどれだけ構築できるかが、存在そのものの意義にかかわってきます。

各病院が自らの病院も発展し、組織全体としても発展するために、患者の目線に立った医療を推進していきたいと思っています。

ハンセン療養所、ナショナルセンター、独立行政法人が、それぞれの立場でそれぞれの役割を最大限果たし、国益にかなう医療・研究を行って欲しいと一国民の立場からも願っていますし、その裏方として小職もお役に立つ仕事をしたいと新年を迎え誓ったところですので、どうぞ私のポストを活用してください。

今年もよろしくお祈りします。